



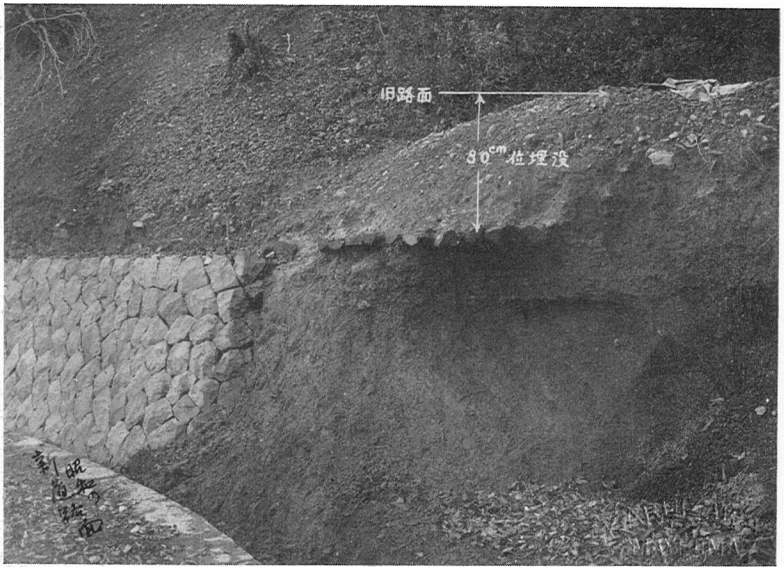
況状の岨險路坂り寄町本坂（道古最）
（寫月一十年八和昭）



(寫月一十年八和昭) む望を面方町澤井輕りよ點岐分路道幸巡御下山持子 (道舊)



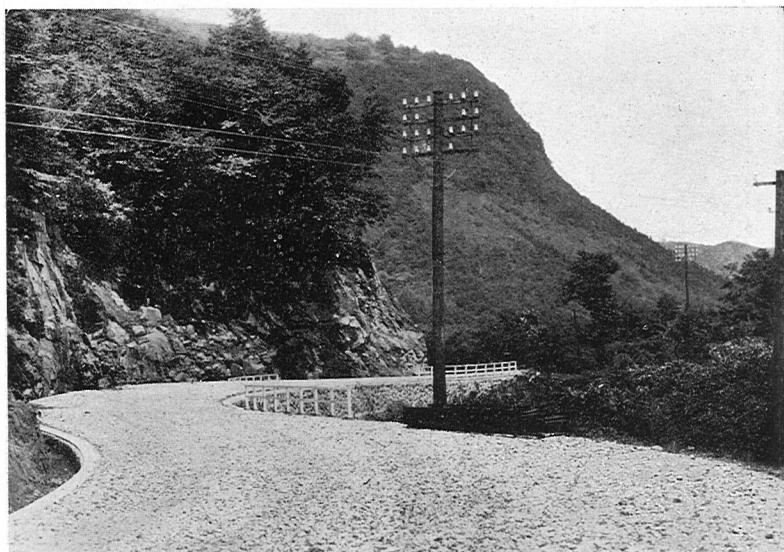
(寫月一十年八和昭) む望を面方町澤井輕りよ口入町峠 (道舊)



改年八七和昭てしに部一の道木るたぎ防を灣泥べ並敷に面路の陰山きし惡り當日
 。りなのもしせ見發て於に近附米百七千九約りよ點起町本坂り當に事工修
 まの太丸はのもの下以れ夫しと割つ四至乃割つ二はのもの上以寸五徑は材木用使
 至乃尺五四約もき難し明判は長く多檜、栗、ナブてしに木雜は種材。りあべ並敷ま
 (寫月一十年八和昭)るは思と位尺九



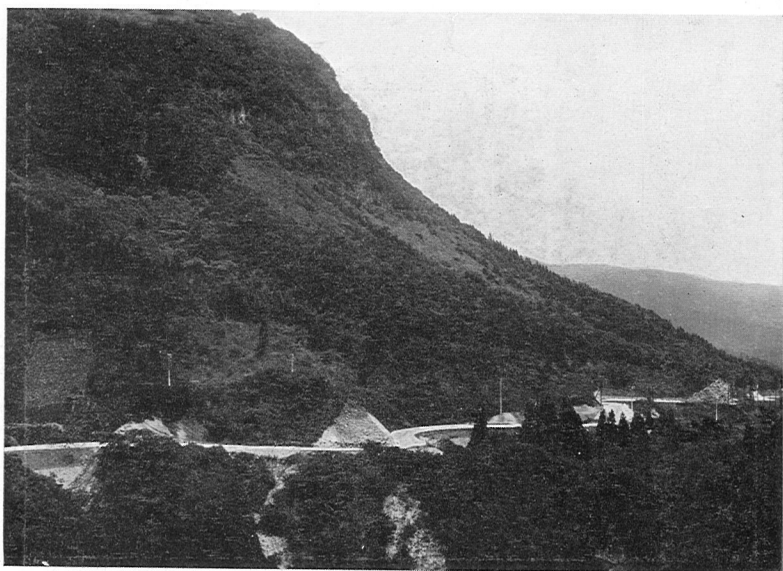
道國の前修改和昭



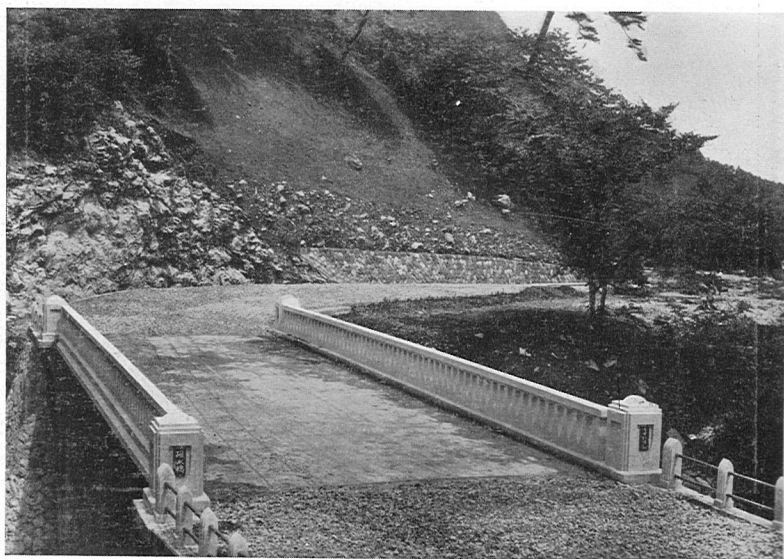
道利砂るせ功竣



(石鋪小面表)道トーリクコるせ功竣



望遠の路道るせ功竣近附橋線跨二第りよ近附米〇〇一三點起町本坂



橋水確るせ功竣

